

# 図書館だより

タウンプラザしまねの  
「民話コーナー」制作に協力して

民話研究家

酒井 董美  
(島根大学法文学部教授)

昨年の11月中旬、松江市殿町の県立博物館の向かいに「島根県市町村振興センター」がオープンした。愛称を「タウンプラザしまね」と命名されたこの大きなビルには、島根県下各市町村の情報発信と紹介を目的とした数々の楽しい設備が備えてある。

わたしは、2階にある「島根の民話」のVTR化に協力したので、そのことについて少し述べておきたい。

このコーナーでは、出雲、石見、隠岐各地区より2話ずつ、合計6話の民話を紹介するのが狙いである。そこでわたしがこれまで収録していた民話の中から、楽しい伝説と昔話を選んで、それに福本隆男氏のイラストをつけ、語り手が方言で語ってくださったそのままを流す方針で作業を進めて行った。したがって、出雲弁あり、石見弁あり、隠岐弁ありで、聞いているとまるでその地方にいるような錯覚に捉えられる。しかし、他地方の人たちが聞けば、何を語っているのか分からぬ恐れがあるので、別のボタンを押せば同じ話が共通語で聞ける配慮もされている。念のため内容を紹介しておく。(題・語り手氏名=敬称省略)



- ①敬介の淨瑠璃聞き…(八束町・足立チカ)
- ②法事の使い…………(横田町・安部イト)
- ③菖蒲ヶ廻の婆………(三隅町・松岡宗太)
- ④桙谷次郎の傘さし…(柿木村・大田サダ)
- ⑤蟹淵……………(西郷町・茶山儀一)
- ⑥小僧の蜂蜜なめ……(海士町・浜谷包房)

収録は古いところで、昭和36年をはじめ、昭和40年代から50年代のものが多い。そして語り手の大半は物故されてしまっている。

もちろん、収録当時は一般的に民話の重要性への認識は薄かったので、後ほどこのようにそれが活用されることになろうとは、わたしは予想さえしていなかった。それだけに語り手の方々もどこかで、今回のこと喜んでおられるのに違いない。

わたしは無心に語られているこれらの録音を聞きながら、資料を消さずにおいて本当によかったと思うこのごろなのである。

幼児・児童読書普及事業……親子読書、子供読書活動の普及と定着化を図るため、4市町村ずつを対象に2年間にわたり重点的に指導・援助を行っています。平成5～6年度は、大田市・益田市・斐川町・石見町を指定しました。大田市立図書館長さんから感想を寄せていただきました。

## 幼児たちとの新鮮な出会い

大田市立図書館長 西 村 武

大田市は平成5年度から2ヶ年、県立図書館の幼児・児童読書普及事業の指定を受け、その訪問指導は、市内の保育園や幼稚園を対象に延べ23回にも及んでいますが、私は、先日はじめて保育園でその雰囲気にふれさせてもらいました。

園に足を踏み入れたとたん、元気な挨拶で歓迎を受け、じっとしていることなくあちこちを走り回っている園児達。長い間忘れていた幼児の世界を思い起こしました。県立図書館の先生の読み聞かせのときは、先生の話にじっと耳を傾け、めくられる絵を食い入るように見つめる瞳、ときには自分たちも声を合わせて読み出したり、期待する場面ではドット大きな歓声をあげたり、そこには本を読まれる先生とそれを聞く幼児が一体となった空間が創り上げられている状況がよく伝わって来ます。

続いて保護者に対して、読み聞かせの大切さについての話がありましたが、お話を中で「幼児は絵を読んでいますよ」という言葉に、私の幼児に対する新しい目を開かされた思いがしました。

このような親子共々の勉強が反映されたのか、大田市立図書館でも、幼児の来館や貸出が際立って多くなりました。そのことは統計だけでなく、実際に狭い館内へ、お母さんに抱っこされたり手を引かれたりしてやって来る幼児が多くなった状況からも実感できます。

私は今まで30余年にわたって高等学校の生徒と関わりをもって來たのですが、今思ひ返せば、高校生の顔にはいつも期待と不安の交錯した表情が浮かび、その心情は既成の権威に対して挑戦的であり批判的であったことに気づきます。自立への旅のまっただ中にいる高校生ですから、けだし当然のことですが、そのような生徒たちに對してはこちら側も身構え、全身をぶつけ合う、いわば対決の状態であったように思います。

それに比べて、読み聞かせの場で接する幼児の顔は、一様に明るくそれが自信に満ち、見るもの聞くものすべてを信じ切った表情を示してくれます。動作も自分の感情をそのままに表し、のびのびとした振る舞いです。このような幼い子供たちの状況は、私が高校生相手ではふれたことのない新鮮な雰囲気でした。この澄んだ瞳の子供達に、純粋な感動や読書の楽しさが体験できるような、素晴らしい本との出会いをさせたいものだと思わずにはいられません。

やがてこの幼児達も成長する過程で、多くのことを学び、他者との関わりに気づき、悩み、苦しみを味わうことになるでしょう。そして、そのような幼児の成長のために周りの大人の助けは必須のものですが、その中で公共図書館がどのように関わっていくべきか、改めてその責任の重さを思うと同時に楽しさも覚える昨今です。

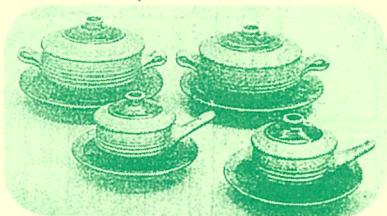
# 『健やかな実用陶の願い』

講 師：多々納 弘 光 氏

と き：平成7年2月14日（火）午後1時～3時

ところ：島根県立図書館 集会室

参加料は無料です。



## ☆講師紹介

昭和2年斐川町生れ。昭和22年出西窯を創業。

以来出西窯陶工として制作と、出西窯の経営に従事する。

日本民藝協会常任理事。出雲民藝協会会員。

平成3年、山陰中央新報社地域開発賞第30回島根文化賞受賞。

## 図書館ってどんなとこ？

### — 本 の 受 入 —

#### ～ある職員の一日～



#### 午 前

朝の開館準備の後、前日までに集まった新刊の選定本とリクエスト本等の発注書（注文書）を作成し書店などに発注する。

この後、寄贈本のコンピュータ登録を始める。書名・著者名・出版社・分類・出版年などの本の情報を入力する。まるで、本の戸籍を作っているようだ。今月は、600冊の寄贈本を登録しないといけないから、1週間だと150冊で、1日だと…などとあれやこれや考えてしまう。

#### 午 後

お昼にリクエスト本が届く。急いで発注書とのチェック、原簿（台帳）記入、支払い書類の作成をした後、バーコードを貼り、登録を始める。時に、おもしろそうで読みたくなるのをぐっと我慢して、早く利用者にお渡しできるようにと、しかし、慎重に入力していく。

入力後、ラベルを貼り、本の破損や汚れを防ぐためのコーティングをしてカウンターへ送り出す。その後、中断していた寄贈本の入力を続ける。今日もまたコンピュータとにらめっこの一 日だった。

# 行事予定

2月



1 水 親子で絵本を読む会 15:00~15:40	2 木	3 金	4 土 古文書を読む会(近世) 14:00~16:00
5 日 休館日	6 月 休館日	7 火	8 親子で絵本を読む会 15:00~15:40
12 月 予供読書会 10:00~11:30	13 月 休館日	14 火 講演会 13:00~15:00 大人読書会 15:00~17:00	15 母子で絵本を読む会 15:00~15:40
19 日 休館日	20 月 休館日	21 火	22 母子で絵本を読む会 15:00~15:40
26 日 休館日	27 月 休館日	28 火 休館日	

○館内展示……「昔話」を楽しむために



3月



1 水 親子で絵本を読む会 15:00~15:40	2 木	3 金	4 土 古文書を読む会(近世) 14:00~16:00
5 日 休館日	6 月 休館日	7 火	8 母子で絵本を読む会 15:00~15:40
12 日 休館日	13 月 休館日	14 火 成人読書会 13:00~15:00	9 万葉集を読む会 14:00~16:00
19 日 休館日	20 月 休館日	21 火 春分の日	10 出雲国風土記を読む会 13:00~15:00
26 日 休館日	27 月 休館日	28 火	11 予供読書会 10:00~11:30
			12 母子で絵本を読む会 15:00~15:40
			13 月 休館日
			14 火 春分の日
			15 母子で絵本を読む会 15:00~15:40
			16 木
			17 金
			18 土 古文書を読む会(中世) 13:30~15:30
			19 土
			20 日
			21 月
			22 火
			23 水
			24 木
			25 金
			26 土
			27 日
			28 月
			29 火
			30 水
			31 木

○館内展示……各受賞作品



※各種講座は講師の方の都合により変更する場合もあります。

## 利用案内

### ●休館日

毎週月曜日・国民の祝日  
毎月末日(月末が日曜日にあたるとときはその前日)  
年末年始 12月28日~1月4日  
図書整理休館(春・秋、それぞれ10日間)

### ●開館時間 9時~18時

子ども室は火曜日~土曜日は13時~18時  
ただし、小・中学校の週5日制導入に伴い、  
第二土曜日・春休み期間中は午前9時から開け  
ます。

### ●貸出し

冊数…5冊以内  
期間…15日

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成7年1月31日

FAX 0852-22-5728